

各 位

上場会社名	株式会社 ウィザス
代表者	代表取締役社長 生駒 富男
(コード番号)	9696)
問合せ先責任者	常務取締役 井尻 芳晃
(TEL)	06-6264-4202)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年11月9日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,922	676	404	100	9.95
今回発表予想(B)	13,922	676	404	△250	△24.86
増減額(B-A)	0	0	0	△350	
増減率(%)	0.0	0.0	0.0	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	13,769	849	598	32	3.29

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,148	646	525	194	19.34
今回発表予想(B)	12,148	646	525	△250	△24.86
増減額(B-A)	0	0	0	△444	
増減率(%)	0.0	0.0	0.0	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	11,924	642	545	62	6.44

修正の理由

1 連結業績予想の修正

売上高、営業利益、経常利益につきましては、概ね予想通りとなる見込みであります。当期純利益につきましては、単体で計上しました有価証券評価損に係る当該会社の「のれん」の一時償却1億48百万円を「持分法による投資損失」として計上、適格年金制度廃止に伴う終了損失17百万円、事業所移転等に伴う減損損失・固定資産除却損1億円等を特別損失として計上する見込みであるため、前回発表予想と比べまして3億50百万円減少し2億50百万円の当期純損失の見込みとなり、前回予想を下回る見通しです。

2 個別業績予想の修正

売上高、営業利益、経常利益につきましては、概ね予想通りとなる見込みであります。当期純利益につきましては、年度計画策定時に見込んでおりました有価証券評価損について、当初見込み以上に株価が下落したこと、時価の無い関連会社株式について財務内容を評価した結果、保守的に有価証券評価損を計上したことにより3億円、適格年金制度廃止に伴う終了損失17百万円、事業所移転等に伴う減損損失・固定資産除却損1億円等を特別損失として計上する見込みであるため、前回発表予想と比べまして4億44百万円減少し2億50百万円の当期純損失の見込みとなり、前回予想を下回る見通しです。

(注)上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上